

ニュースレター雪氷北信越

No.64 1998年12月10日
(社)日本雪氷学会北信越支部発行

目次

<案内>

- ・1998年度 新潟地区 積雪調査法講習会(2/20, 長岡)

<報告>

- ・1998年度日本雪氷学会全国大会(11/11~15, 塩沢)
- ・新潟地区学習会(10/27, 新潟)

<お知らせ>

- ・新刊ニュース『鉄道土木構造物の維持管理』
- ・WWW掲示板設置(支部ホームページ)

<案内>

1998年度 新潟地区 積雪調査法講習会のご案内

- [1] 講習題目: 積雪調査法
- [2] 日時: 1999年2月20日(土) 9:00~15:30
- [3] 会場: 〒940-0821 長岡市栖吉町前山187-16, 科学技術庁長岡雪氷防災実験研究所
- [4] 講師: 遠藤八十一氏(農水省森林総研)、和泉 薫氏・竹内由香里氏(新潟大学災害研)、五十嵐高志氏(長岡雪氷防災研)、河島克久氏(JR総研)
- [5] 日程と講習内容:
 - AM 8:50~ 9:20 受付・班分け・昼食申し込み
 - AM 9:30~11:30 講義(積雪調査法の概要と測器の説明)
 - PM 1:00~ 3:30 野外実習(積雪の層構造と雪質の観察、雪温・密度・積雪相当水量・雪の含水率・雪崩ビーコンなど)
- [6] 定員: 16名(先着順)(申し込みが少ない場合は中止することがあります)
- [7] 申込締切り日: 2月10日(水)までに、申込書に所定事項を記入し、郵送またはFAXにて下記へご連絡ください。
- [8] 申込先: 〒947-0005 小千谷市旭町7-1 小千谷高校内 田村盛彰
TEL:0258(83)4076, FAX:0258(82)0646, 自宅TEL/FAX:0258(33)3820

[9] 参加費：テキスト、実習材料等の実費。（講習当日に領収いたします）

正会員・団体会員＝2,000円、学生＝1,000 円、非会員＝3,000 円

※申し込み受付け後、改めて詳細な案内をお届けします。

※講習会終了後、後日修了証を交付いたします。

（講習会担当：佐藤和秀・田村盛彰）

積雪調査法講習会申込書

氏 名： _____（正会員、団体会員、非会員、学生）○で囲んで下さい

所 属： _____

連絡先：住所／〒 _____

電話番号： _____，FAX： _____

< 報告 >

1998年度日本雪氷学会全国大会（塩沢）の報告

1998年度日本雪氷学会全国大会は、新潟県と塩沢町の共催を得て、10月11日～15日の間、新潟県塩沢町で下記の日程により開催された。なお、15日の見学会は申込み者が規定の人数に達しないため中止された。

時：1998年10月11日（日）～15日（木）

会場：塩沢町公民館・六分区民コミュニティセンター

日程：10月11日（日）各種会合

12日（月）研究発表（口頭発表）、技術展示、公開特別講演会、
授賞式、懇親会

13日（火）研究発表（ポスター発表）、技術展示、各種会合、
ミニ見学会

14日（水）研究発表（口頭発表）、技術展示、各種会合

15日（木）見学会（中止）

本大会には、全国から予想を超える385名の多数の学会関係者が参加し、224題の研究発表に熱心な討論が行われました。また、公開特別講演会「塩沢の雪に魅せられた人々」には、一

般町民の方々を含む約350名の参加があり、雪国の素晴らしさや今後の雪国のライフスタイルのあり方について学ぶことができました。懇親会（参加者242名）では、イトウの刺身、地酒、塩沢産コシヒカリのおにぎり等が人気を博し、終始和やかな雰囲気のもとで行われました。塩沢雪害防止実験所、つむぎの里、雲洞庵などを巡るミニ見学会には、合計45名の参加があり、好評を博しました。

このように大会は盛会で、好評のうちに無事終えることができましたことを報告すると共に、本大会の開催にあたり御協力頂きました多くの方々に心より御礼申し上げます。

（大会委員長 遠藤八十一）

< 報告 >

新潟地区学習会報告

演題：気象情報頁の裏話

講師：菊地時夫氏（高知大学理学部）

日時：1998年10月27日 14:00-16:00

場所：新潟大学積雪地域災害研究センター

出席者：12名

雪氷メーリングリストや雪氷学会ホームページを管理運営されている菊地時夫氏に高知大学気象情報頁（<http://weather.is.kochi-u.ac.jp/>）に関するお話をさせていただきました。

気象情報頁は開始当初は「情報の横流し」（菊地氏言）だったそうですが、2年ほど前から独自の画像処理による情報提供をされています。ここへ至るまでの経緯、いろいろな人との出会い、情報頁を管理するための日常的な作業内容や様々な工夫など、インターネットを利用していてもなかなか知ることのできない裏話を伺うことができました。厚さ3 cmほどの薄いノートパソコンに「PHS無線カード」を接続し、その場でインターネットの情報を取り込みながら、パソコン画面を液晶プロジェクターでスクリーンに映しての講演は、今後OHPに替わって普及するであろうプレゼンテーションの見本となり大変有意義でした。

（竹内由香里幹事 記）

< お知らせ >

新刊ニュース

『鉄道土木構造物の維持管理』

村上温・野口達雄 監修／高坂清和・須田征男・野田豊範・徳岡研三・元木泰明・甲斐総治郎・神立哲男・小山幸則 編／（社）日本鉄道施設協会／B5判／737頁／定価7,350円

本書は、鉄道の防災および土木構造物の維持管理に関して、豊富な資料をもとに橋りょう、

トンネル、のり面、自然斜面、雪害、風害、最近の大規模災害事例、列車運転規制など幅広く述べられている技術書である。著者はJR各社および鉄道総研の技術者・研究者である。この種の教科書、技術書は、これまで非常に数が少なく、しかもJR発足以降に出版されたものはなかったので、鉄道技術者・研究者にとっては非常に有用な参考書となるであろう。なお、本書では、鉄道の雪害や凍害について、事例や最新の対策法を取りあげながら記述されており、全体で約45頁が割かれている。

(塩沢雪害防止実験所 河島克久 記)

<お知らせ>

WWW掲示板設置のお知らせ

雪氷学会北信越支部ホームページ (<http://arctic.nagaokaut.ac.jp/jssi/>) に掲示板を設置しました。雪氷関係の情報交換の場として自由に御活用下さい。

(上村靖司幹事 記)

※次号のニューズレターは1998年2月10日発行予定です。原稿は1月25日(月)までにお送り下さい。

原稿送付・問い合わせ先：小南靖弘，横山宏太郎

〒943-0193 新潟県上越市稲田1-2-1 北陸農業試験場 水田利用部 気象資源研究室
tel.: 0255-26-3234 / Fax: 0255-24-8578 / E-Mail: met@inada.affrc.go.jp